壮大な歴史に触れる

＃熊谷の国宝



埼玉県内唯一の国宝建造物「妻沼聖天山 歓喜院聖天堂」

治承3年（1179年）に創建され、斎藤別当実盛公が庶民の心のよりどころとして大聖歓喜天を祀ったことに始まる。

本殿歓喜院聖天堂は、江戸時代に発展した多様な建築装飾技法が惜しみなく注がれた華麗な建物であり、技術的な頂点のひとつと言える。これだけの建物が庶民信仰によって実現したことは、日本の宗教建築を考える上で極めて高い価値があることから国宝に指定された。その壮麗さゆえに、「埼玉日光」と称されるほどだ。中には、七福神が碁を打つ姿や子どもの凧揚げなど、どこかユーモラスで当時の平穏な暮らしの様子が伝わってくる彫刻を見ることができるのが特徴だ。

境内には「貴惣門」や「御正体錫杖頭」など、数多くの歴史的建造物や文化財を有しており、厳かな空気が漂う寺院で散策にはぴったりな場所だ。縁結びのパワースポットとして有名で、恋愛だけでなく、商売繁盛や学業成就など、あらゆる良縁を結ぶ御利益があると言われている。

「妻沼の聖天様」は地域の人々に愛されながら、平安から令和の時代へ受け継がれているのだ。



吉祥天と弁財天が双六をしている様子。神様が人々を救うために奔走することなく遊んでいる、平和な世であってほしいという願いが込められているという









Interview

観光客の感動の声が 原動力 「その歴史と美しさを感じてほしい」

私たちボランティアガイドは、国宝妻沼聖天山を訪れる方々に、ガイドによる説明と案内を行い、歴史や魅力を伝えることを使命としています。また、ボランティアガイドへの必要な知識、技能の教育にも力を入れており、郷土の歴史と文化の愛護、伝承に寄与することも大切な目的のひとつです。

私は生まれも育ちも妻沼で、ボランティアガイド歴は16年になります。きっかけは同級生からの誘いで、最初は軽い気持ちで参加しましたが、今では年代を超えた新しい友人ができ、活動を通じてたくさんの喜びを感じています。

歓喜院聖天堂は埼玉県唯一の国宝建造物であり、庶民の浄財によって作られたことは稀有なこととして評価のひとつとなりました。聖天堂の美しい彫刻はそれぞれに意味があり、神様や子どもたちが戯れる姿は、平和な時代を象徴しています。

ガイドを通じて、聖天様や妻沼地域の歴史を学ぶうちに、「良いところに生まれ、住んでいる」ということを実感する良い機会にもなりました。

ガイドを担当した方の「わぁ、すごい、きれい！」という声を聞くと、心が温まります。ぜひ一度、聖天山を訪れて、その美しさを実感していただきたいです。



ボランティア国宝妻沼聖天山ガイド
会長
廣木 英子 さん

「妻沼聖天山」の魅力をもう少し！





聖天様の門前、縁結び通りは昔ながらのレトロなお店が並ぶ商店街で、毎年4月と10月には手づくり市が行なわれ、多くの人でにぎわいます！また、仁王門の左右に立つ金剛力士像は、熊谷市内でよく見かける防犯ポスター「監視の目」のモデルとなっています！





境内を散策して
歴史を感じる





歓喜院聖天堂

中門、貴惣門とソメイヨシノ

